

## 庄原市観光振興計画（案）パブリックコメント（ご意見と回答）

- ① 公表の場所：市ホームページ、市商工観光課・各支所
- ② 募集期間：平成26年2月7日（金）～2月13日（木）
- ③ 募集結果：2人

### ご意見の概要

自然を対象にした観光地づくりは、1回～2回行けば飽きてしまいます。山の観光より、山の木の利用を全国にアピールするほうが観光になりませんか。

外国人観光客の誘致は、東京秋葉原コースがあるように、庄原市エディオンコースが中国・タイの人に受けるのはないですか。

指定管理温泉周りには花がない。花と緑ならそこから始めよう。

この計画は、あまりにも出来すぎです。市民の理解ができて、他人事としか読まないのではないですか。

### 市の考え方

今回の観光振興計画は、5年間の大きな観光振興施策の方向性を定めたもので、総花的であるという印象を持たれたかもしれませんが、さとやま資源にこだわり、庄原市の特性を生かした計画であると考えています。

今後、この観光振興計画を基に、具体的な事業スケジュールを盛り込んだ、アクションプランを策定しますので、今回のご意見を踏まえて、効果的な事業実施に努めてまいります。

### ご意見の概要

はじめに 1. 計画策定の趣旨

目的は「庄原市における観光消費額の増加による市民所得の向上と地域経済の活性化です。」とありますが、これは目標であって、全市民が目指す最終目的ではないと感じました。もし市民の所得向上が目的とするなら、市民が所得に満足した時点で観光の意義が無くなるということになるのでは。発想は逆で、観光収益や観光客によって市民の暮らしが「庄原いちばん」になるということ。観光を盛り上げたい意思があるが、経済効果の薄い活動をする市民に対しては、参加意欲を削ぐものとなります。実戦力となりえる志の高いボランティアの気持ちも汲み入れた計画であってほしいです。

「庄原いちばん基本計画」には数値や量、順位などにこだわったものではなく、「しあわせ」や「安心」、「達成感や満足感」といった、心の「いちばん」を実感できること、とあります。したがって、「庄原いちばんづくり」を実現するため、観光振興計画を策定しますと、庄原市における観光消費額の増加による市民所得の向上と地域経済の活性化をめざし...、この書き出しに矛盾を感じます。

### 市の考え方

庄原市の最大の課題である人口減少によって、地域活力の低下および地域の持続的な発展が困難な状況であるという危機感のもと、観光の産業化に重点的に取り組む必要があると考え、この記述を引用しました。

しかし、ご意見をいただいたとおり、説明不足となっていると思いますので、観光振興による市民生活の安定向上などの記述を追加いたします。

<b>ご意見の概要</b>
はじめに 2. 計画の位置付け 付録資料で「庄原市長期総合計画」、国の「観光立国推進基本計画」、「ひろしま観光立国推進基本計画」のふまえるべき要点、概要と庄原市としての取り組み方針も明らかにされると、位置づけの共有がはかりやすいです。
<b>市の考え方</b>
ここでは、計画の位置づけや、国や県の計画を踏まえて策定していることを表現しており、各計画の要点や概要の記載については、それぞれご確認いただきたいと思います。

<b>ご意見の概要</b>
2章 2 達成目標（2） 達成目標を総観光客数、観光消費額、来訪者の満足度で表記がありますが、加えて 庄原市民の心のいちばん度、を数値化し比較すべきでは？よく読めば市民の心の達成の部分も、ふわっと書かれてはいますが、数字が強烈に残るので、表現の工夫を。実感の効果の部分も箇条書き、表であらわすなど。
<b>市の考え方</b>
市民の心のいちばん度については、観光振興だけでなくさまざまな要因がからむため、観光振興計画の目標指標とするのは困難であると考えます。なお、長期総合計画の中で、分野別の施策に関する「市民の満足度割合」を設定し、アンケート調査により確認することとしています。

<b>ご意見の概要</b>
全体の再構成について できるだけシンプルに重複表現をさけ、最低限必要なデータ以外は、資料データ編へ。起承転結が共感できる構成へ。表現について、「手段」と「目標」「目的」の整理と合意を。所得向上で解決なのか？観光ができる課題解決は？観光の可能性は？観光で解決されない課題、問題点等も明記して欲しいです。
<b>市の考え方</b>
計画の構成について、さまざまな手法があると思いますが、今回は、オーソドックスな手法が分かりやすいと考え、観光の現状と課題、強みを踏まえて、将来像や達成目標を掲げ、それを達成するための手段として施策の展開、計画の推進体制という流れで掲載しています。所得向上で解決なのか？観光ができる課題解決は？観光の可能性は？につきましては、第2章の観光のめざす姿などに記載しています。観光で解決されない課題、問題点等については、観光振興計画の中で整理することは難しいと考えます。